

## 市町村長・管理職特別セミナー ～自治体経営の課題～・地域経営塾 (1月9日～10日)

1月9日・10日に、「市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾」(共催：総務省)を開催しました(「管理職特別セミナー～自治体経営の課題～」を同時開催)。

今回のセミナーでは、昨年10月の「消費税増税」、いよいよ今夏に迫った「オリンピック」、そして令和に入って最初の年明けの開催ということで、新時代「令和」をキーワードに、各分野でご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「消費増税後の日本について考える～どんな社会を構想するのか～」と題して、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策先生から、自己責任の社会ではなく、連帯の社会にどのように再構築していくかが、消費増税後の社会の議論のポイントであり、医療・教育・介護・子育てなど、全ての人が必要とする「普遍的ニーズ」は、税を使って全ての人にサービスを提供すべきとする「ベーシックサービス」の提案などについてご講演いただきました。井手 英策先生



参加者からは、「明確なビジョンの下、日本の将来を見すえた1つの方向性を示しており、とても参考になった」、「今できることから、全ての人が幸せになれる施策に取り組んでいきたい」などの感想をいただきました。



黒田 武一郎氏

次に、総務事務次官の黒田武一郎氏より、「地方行財政の課題」と題して、地方財政対策や税制改正のポイント、地方財政対策の具体的に工夫した点などについてご説明いただきました。さらに、人口や社会保障、地域医療、災害など、今わが国が直面する課題、「まち・ひと・しごと『総合戦略』」や「マイナンバーカード」、「東日本大震災からの復興」等に係る総務省の取り組み等についてご講演いただきました。参加者からは、「丁寧なお話で時間の許す範囲で1つ1つの課題に沿って熱意あるお話をいただけた」、「説明のあった内容を踏まえ政策立案に役立てていきたい」などの感想をいただきました。

2日目は、日本生命卓球部総監督の村上恭和氏から、「勝利はすべてミッションから始まる」と題して、オリンピック代表選手の選考基準の見える化や練習環境の強化など、日本生命女子卓球部や日本代表監督時代に選手やコーチのモチベーション向上のために行ったこと等についてご講演いただきました。参加者からは、「世界トップレベルの指導者の生の声を聞くことができ、感銘を受けた」、「従来の仕組みを変えることの重要性、楽しさ、やりがいなどについて学んだ」などの感想をいただきました。



村上 恭和氏



西原 春夫先生

最後に「令和日本の国家像」と題して、(一財)アジア平和貢献センター理事長、早稲田大学名誉教授・元総長の西原春夫先生から、元号と日本の時代の関係についての考察を踏まえ、「令和」の語源やそこから読み取ることができる、令和日本の課題等についてご講義いただきました。参加者からは、「非常に哲学的な内容で、心の中に訴えかけられた」、「令和の時代の日本の将来・理想を示され、明るい気分となった」などの感想をいただきました。